

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和4年 3月15日

事業実施地区	柳原団地区
事業名	地域住民の教育や文化の振興を進める上で必要な機器等の購入事業
団体名及び 代表者名	(団体名) 柳原団地区 (代表者名) 区長 (連絡先)

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

自治会、各種団体の会議、毎月集金等集会時は、旧式の机で重量もあり数日前からの用意が必要となっている。備品を整備することにより当日短時間での準備ができ、住みよい地域環境作り、事業の円滑並びに省力化を図ることができる。	【事業完了日】 令和4年2月28日 【総事業費】 214,500円 【補助金額】 92,000円
---	---

※活動状況のわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

新型コロナウイルスの感染症により各種行事が中止される中、最低限の会議と毎月の集金業務は必要であり、補助金により整備された、跳ね上げ式机はレイアウトを変え22回の会議及び集金業務に、ホワイトボードは説明会等に有効利用された。

また、新型コロナウイルス感染症対策の密を避けるために、2ブロックに分けるレイアウトが必要となり、同じ机が2台不足する事も判明した。

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容		○		
事業の効果	○			
特記事項 (評価理由等)	毎月の集金業務と引き続き行う定例協議員会のレイアウトが円滑に行う事ができ、予定を上回る効果が得られた。			

■今後の取組予定

コロナ禍の収束後、集会室は団地住民の集会や学習の場として、また生涯学習の拠点施設として利用回数が増えるため、集会室に積んである旧机は高さが同じ物は室内用に、旧規格の物は屋外用に利用するため4台は防災倉庫に置き、残りはピロティを改修して倉庫を造り各種行事に有効活用し、集会室を広く利用できるよう計画する。

なお、地域公民館改革を行うため、区長経験者及び地館長経験者を人選した。

また、不足が判明した2台の机は令和4年度予算で購入する。



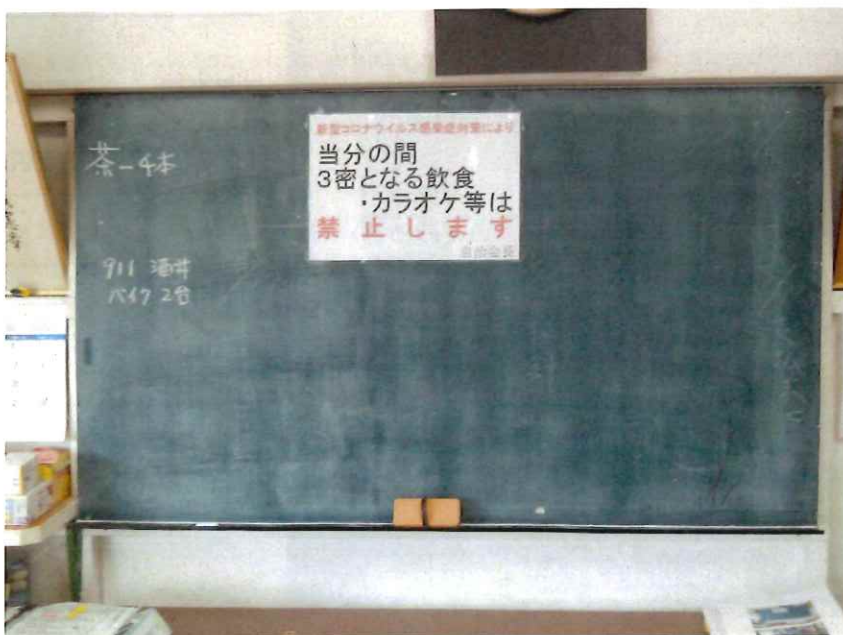
No.1

事業実施前(購入前)



No.2

事業実施前(購入前)



No.3

事業実施前(購入前)



No.7

活用事例

毎月集金業務配置①

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



No.8

活用事例

毎月集金業務配置②

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



No.9

活用事例

毎月集金業務配置③

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

支所発地域力向上支援金 事業評価(柳原支所)

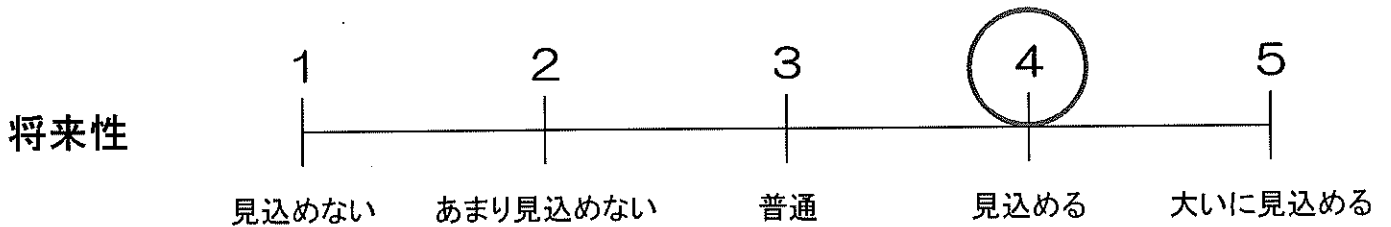
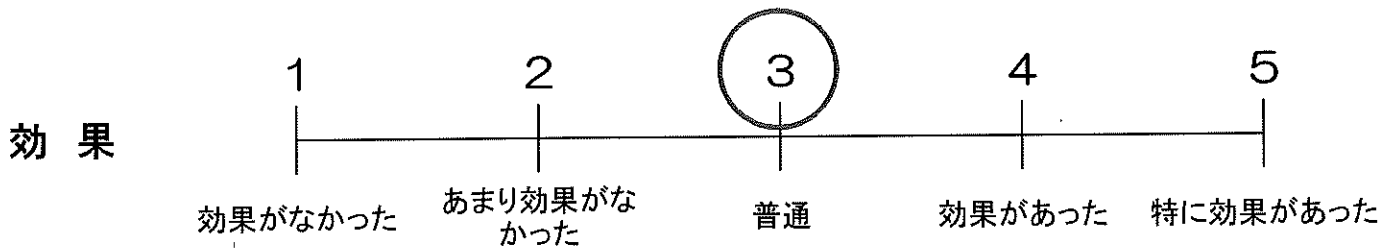
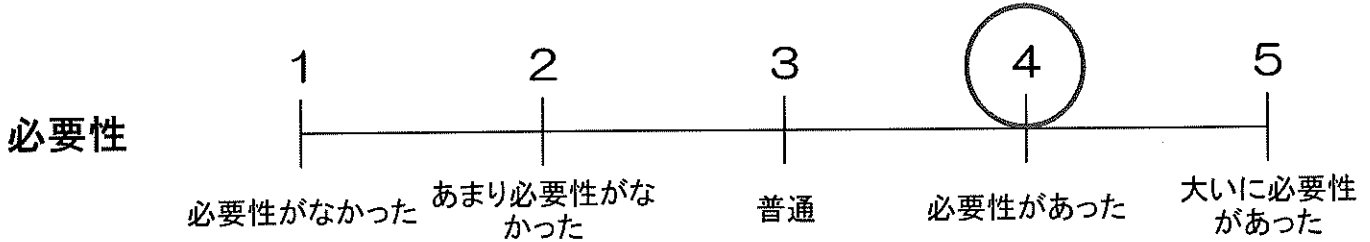
令和4年 3月 16日

事業名	地域住民の教育や文化の振興を進める上で必要な機器等購入事業
------------	-------------------------------

団体名	柳原団地区
------------	-------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分	教育・文化活動
-------------	---------



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

柳原団地区の高齢化率は約43%となっており、区の行事の担い手不足が大きな課題となっている。区の福祉事業や各種行事を行うに当たっては、担い手の負担を少なくすることが必要で、軽量の机を購入したことは、団地のコミュニティ活動の維持に役立ったと考える。新型コロナウイルス感染防止対策のため行事が実施できず、用途が限定されているが、今後は、より労力が少なくコミュニティ活動の場づくりができるため、講演会や交流会等の開催を促進するものと期待している。